

〈隷書〉

深 緑 漸 歸 高 桺 葉 淺
紅 初 上 小 梅 梢

井之上 南岳 先生書

(この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする)

半折作品は各課目ごとに横／＼に一枚ずつたんで提出ください。

〈楷書〉

深 緑 漸 歸 高 桺 葉
浅 紅 初 上 小 梅 梢

吉田 成美 先生書

□ 深緑漸く帰る高柳の葉、浅紅初めて上る小梅の梢。(韓仲正)

次号予告「隔岸遠山分翠黛 繞堤垂柳學纖腰」

〈行書〉

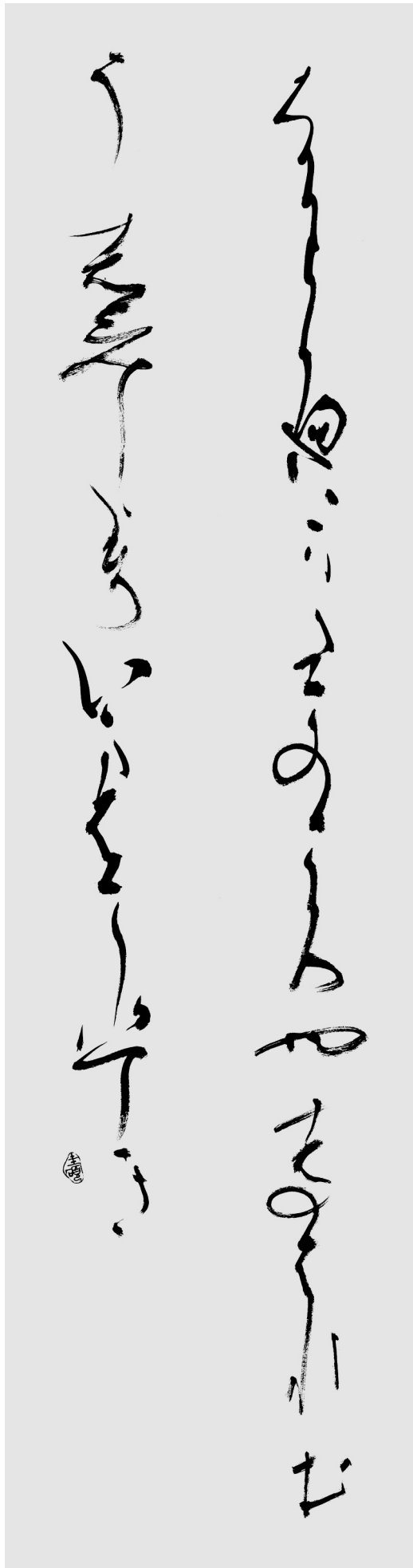
山本飛雲先生書



▽濃い緑は次第に高い柳の葉に見え、淡紅は初めて若木の梅の花に見えそめた。

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書



□な^か可^へら^は遍^{また}八 万多^{また}このころや 志^しの者^はれむ う志^しとみしよそ い万^ま者^はこ悲^ひしき
なからへは またこのころや しのはれむ 憂しと見し世ぞ 今は恋しき
△百人一首八十四▽

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）

清原大龍先生臨

於是微言廣被拯含
類於三途遺訓遐宣

▽雁塔聖教序

於是微言廣被拯含類於三途遺訓遐宣

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

吉田成堂先生書

若山牧水の歌 幾山河 越えさり行かば 寂しさの はてなむ国ぞ 今日も旅ゆく
のけりも 国ぞ 今日も 旅ゆく

《手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。》

半折作品は各課目ごとに横に一枚ずつたんで提出ください。

条幅随意参考手本（半折 $\frac{1}{2}$ 横のみ） — 2月末日締切 —

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

《手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。》



坂元紫香先生書

□ 飯田龍太の句

白梅の
あと紅梅の
深空あり

横長の作品です
ので、横への
動きと広がり
を意識して
書いてみました。



小畠秋聲先生書

□ 返照

① 光が照り返す、夕映え。
② 自分の心の
本源を究明
すること。
反省。

剛毛・濃墨で
強さを表現し
ようと思いま
した。落筆の
高さと手首の
柔らかさが大
切と感じます。

※半折 $\frac{1}{2}$ 横
の出品票
は作品の
左下に貼
って提出
下さい。

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 野の渡しに花は争いて発く(唐・李嘉祐)
野の渡し場あたりには、花が競い合って咲き誇る。



次号予告「影入春潭碧」

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 野の渡しに花は争いて発く(唐・李嘉祐)
野の渡し場あたりには、花が競い合って咲き誇る。



次号予告「影入春潭碧」

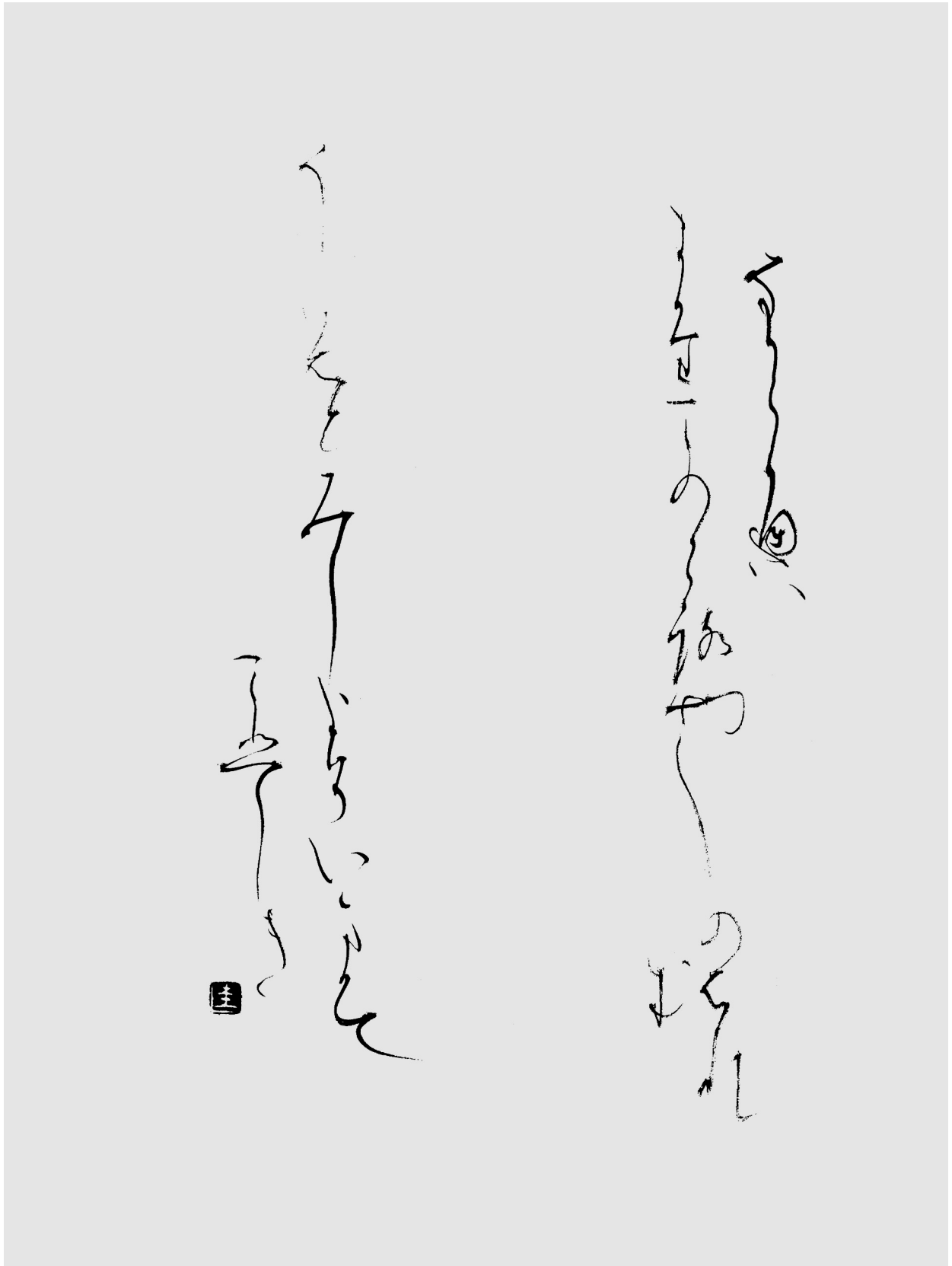
吉田成美先生書

半紙随意参考手本 — 2月末日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△仮名▽

な可^から遍^へ八^は ま堂^たこのこ路^ろや し^はの者^はれむ う志^しとみしよそ い万^ま盤^はこ悲^ひしき



なからへは またこのころや しのはれむ 憂しと見し世そ 今は恋しき

舟尾圭碩先生書

半紙随意参考手本 — 2月末日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

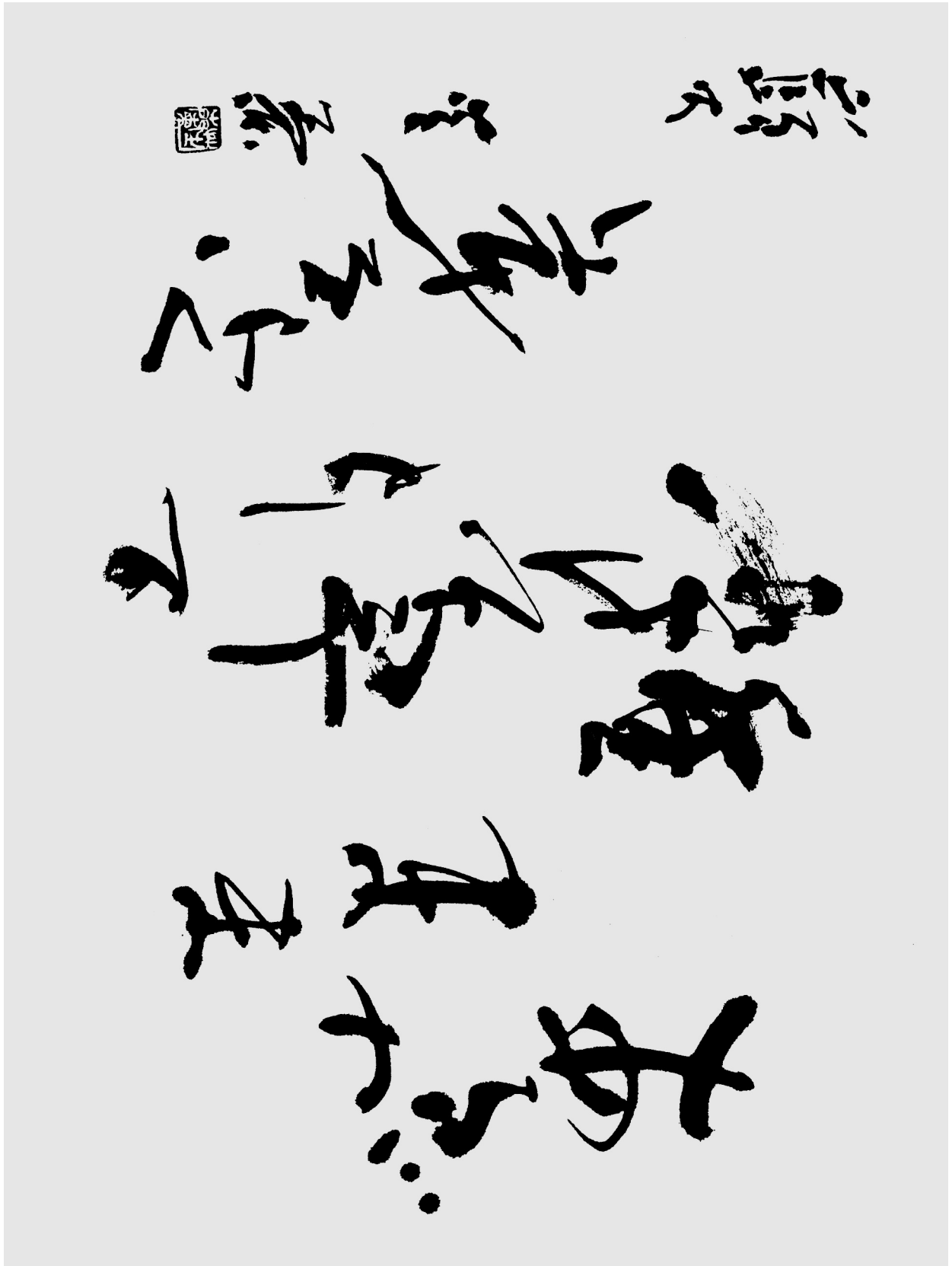
△詩文書▽

種田山頭火の句

あるがまま

雑草として

芽をふく



※出品券は、半紙をタテにした左下に貼って提出ください。(ヨコ作品の場合も半紙をタテにして同様に貼ってください)

西谷芝蘭先生書

半紙随意参考手本 — 2月末日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

□ 吉人辭寡
吉人の辭は寡し
（『易経』繫辭伝下）
徳のある人は寡言である。



次号予告「金石爲開」

渡邊大嶽先生書

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）

△臨書▽

やさしい中にも強い線を意識し、ゆっくりのびのびと書こう。



「於是微言廣被」

清原大龍先生臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△実用書▽

如月 春一番 余寒の候 受験生
 節分 うぐいすが鳴く 初午^{はつうま} 黄梅^{はうばい} 雪どけ 木の芽がふくらむ
 やぶ椿 聖バレンタインデー

姓 号

初 午	受 験 生	黄 梅	如 月
や ぶ 椿	節 分	雪 ど け	春 一 番
聖 バ レ ン タ イ ン デー	う ぐ い す が 鳴 く	木 の 芽 が ふ く ら む	余 寒 の 候

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△手紙文▽

寒さが一段と厳しさを増し華やきの
消えた庭に山茶花が咲いています初冬
から幾度も咲いては散るを繰り返す
ながら静かに春へと繋ぐ薄紅色の
花に気持ちや和らぎます
彰子

寒さが一段と厳しさを増し 華やきの消えた庭に山茶花が咲いています 初冬から幾度も咲いては
散るを繰り返しながら 静かに春へと繋ぐ薄紅色の花に気持ちや和らぎます

大坪桂子先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

△暮らしに役立つ書▽

書譜

千恵美さん、先日の同窓会では、二十五年ぶりの再会が叶い、本当に嬉しかったです。皆、一瞬にして学生時代に戻ったようで、たくさんの話の輪が広がっていましたね。

当日の準備は、市内在住の方を中心に動いてくださったようで、心から感謝いたします。おかげさまで、大変楽しひと時でした。これから会える機会も増えそうですね。次はゆっくり食事でも一緒にしましょう。

明子

野のある便箋に書いてみよう。△ 26 cm × 18 cm ▽ 紙質は自由。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

兵頭白慧先生書

一般硬筆部参考手本＜B＞ — 2月末日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

	れるが、その筆頭格といえるだろう。	ないのに来た客は帰る時に一番喜ば	みや鼻水に耐える計算になる。招かれ	ある。延べ五年ばかり熱や咳、喉の痛	人は生涯に二百回風邪をひくと本に
段 級					
氏 名					

小 畠 秋 聲 先 生 書

(形や注意する点に氣をつけてゆへり書いふ。)

一般の方も是非チャレンジしてください。

坂元紫香先生書

（この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。）

流れる星

小学 4 年

美しい心

小学 3 年

カナリヤ

小学 2 年

はね

ようねん・小学 1 年

花鳥風月

中学 2・3 年

大切な仲間

中学 1 年

芸術の美

小学 6 年

進む勇氣

小学 5 年

坂元紫香先生書

△条幅 1/4 四尺画仙紙半折 1/4 : 68 cm × 17・5 cm ▽

ようねん・小学一年

次号予告「あ ゆ」

はね

□「むすび」のところは、筆の軸だけをまわさないように気をつけて書きましょう。

小学二年

次号予告「二」

力なり
ナヤ

□「ハネ」「ハライ」「トメ」のちがいに気をつけて、ゆっくりていねいに書きましょう。

坂元紫香先生書

小学三年

次号予告「左右」

美し
い心

□平仮名は横を広くし、漢字は点画の筆使い（「ハライ」「ソリ」「ハネ」）に気をつけて書こう。

小学四年

次号予告「平和」

流れ
る星

□文字の大きさに注意し、行の中心や文字の空間に気をつけ、明るく伸びやかに書こう。

吉田成美先生書

小学五年

次号予告「近づく春」

進む
勇気

□「進」は「進」の筆順に気をつけ、しんにょうをのびのびと。「勇・気」はや、縦長に。

小学六年

次号予告「旅立ちの朝」

芸術
の美術

□「芸・美」は横画の長さに注意し、「術」はたて画や点の位置に気をつけ書きましよう。

秋 永 春 霞 先生 書

中学一年

次号予告「春風」(行書)

大切な
仲間

□各文字の中心や字間、文字の配置に注意して、明るく伸びやかに書こう。

中学二・三年

次号予告「変わらぬ友情」(行書)

花鳥
風月

□「トメ」「ハネ」線の強弱を意識し、文字の中心と行の中心にも注意し、流れのある作品にしよう。

吉 田 成 美 先生 書

◎立ててよくくにつける

小学三年

①だにせんをききにかく
 ②にのむねにちゆうする
 ③あいだをあける
 ④はねる

一 二 三 田 田 町

小学二年

小学六年

小学校生活を終えようとする今、			
あなたは何を思いますか。学んだ			
こと、体験したこと、出会った人、			
感じたり、考えたこと。六年間			
に、どんなことがあったでしょう。			

①はねる
 ②点の方向に注意
 ③左はらいを先に書く
 ④戸戸咸咸感

月は衛星として特異といえるほど、			
惑星に対する質量比が大きく、鉄が			
極めて少ない。そのような特徴をも			
つ月は地球に衝突した原始惑星の			
破片から形成されたと考えられる。			

①戸戸咸咸感
 ②伸律律徴徴
 ③行律律種衝